講義科目名称: 実用プログラミング1 C4-B16-50 科目コード: 19170

英文科目名称: Practical Programming 1

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	
2年後期		2	2	選択必修	
担当教員		·	·	•	
山岸 祐己					
添付ファイル					
講義概要	講義を行 用いて基準 担当する	ンドリング技術を修得するために、Webからのデータ取得とその分析手法について演習を交えながら う. 講義前半では主に正規表現やCSSセレクタについて学び、講義後半では数値計算ソフトウェアを 本統計量や機械学習手法などを扱う. この科目は、情報システム開発分野の実務経験のある教員が 科目である. アントレプレナーシップ教育における 情報収集力/分析力/課題発見力・解決力/経営学/マーケ /オペレーションマネジメント/データサイエンス/開発・評価 に該当する内容を扱う			
授業計画	2 3	環境構築 Linux と Python と MATLAB の環境構築 AL:④ プログラムの作成 クローリング・スクレイピング ・wget によるクローリング ・grep, sed によるスクレイピング AL:④ プログラムの作成 Python の基本 ・リスト,タプル,辞書 ・制御構造			
	5	・関数定義, クラス AL:④ プログラムの作成 Python ライブラリによるクローリング① ・Requests, re, 1xml AL:④ プログラムの作成 Python ライブラリによるクローリング② ・Beautiful Soup ・ステータスコードとエラー処理			
	6	AL:④ プログラムの作成 MATLAB によるデータ処理① ・データ列の抽出 ・サンプリング AL:④ プログラムの作成			
	7	MATLAB によるデータ処理② ・基本的な統計量 ・データの結合と分割 AL:④ プログラムの作成			
	8	MATLAB によるデータ処理③ ・数値型 ・カテゴリ型 ・日時型 ・文字型 ・位置情報型 AL:④ プログラムの作成			
	9	MATLAB によるデータ可視化 ・データ可視化による概要把握 AL:④ プログラムの作成			
	10	MATLAB によるデータ分析① ・多項式近似と最小二乗法 ・オーバーフィッティング AL:④ プログラムの作成			
	11	MATLAB によるデータ分析② ・最尤推定法 ・正規分布 ・Z-score AL:④ プログラムの作成			
	12	MATLAB に ・パーセフ ・誤差逆位 ・確率的 ・ 準ニュー・レーベン	よるデータ分析の プトロン 云播法(Backprop 勾配降下法	pagation)	

	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1			
	13 MATLAB によるデータ分析④ ・学習済みモデルに関する可視化 ・学習済みモデルの利用 ・ロジスティック回帰 ・ROC曲線 AL:④ プログラムの作成			
	14 MATLAB によるデータ分析⑤ ・教師なし学習 AL:④ プログラムの作成			
	 MATLAB によるデータ分析⑥ ・EMアルゴリズム ・ベイズ推定 AL:④ プログラムの作成 			
	16 試験 定期試験 (60分・全てFormsによる選択式問題・生成AIも含めたツール等の使用可)			
授業形態	講義を行いながら演習を実施し,課題として演習問題を出題する.時間外での努力を期待する. 講義実施方法:オンライン(Teamsでのオンデマンド形式) アクティブラーニング:①:0回,②:0回,③:0回,④:15回,⑤:0回,⑥:0回			
達成目標	(a) Webページをクローリング/スクレイピングするためのプログラム作成 (b) Webから取得したデータの簡易な分析/可視化(基本統計量/重回帰分析/ニューラルネットワーク)			
評価方法・フィー ドバック	定期試験 60%, 課題 40% で評価する. 課題は採点して返却し, 結果をフィードバックする. 原則として, 課題などのフィードバックは次回以降の授業内で実施する.			
	定期試験:60分・全てFormsによる選択式問題・生成AIも含めたツール等の使用可 課題:全てFormsによる選択式問題・生成AIも含めたツール等の使用可			
評価基準	評価基準は以下の通りとする. 「秀」:達成目標の 90% 以上に到達している 「優」:達成目標の 80% に到達している 「良」:達成目標の 70% に到達している 「可」:達成目標の 60% に到達している 「不可」:達成目標の 60% 未満に到達している			
教科書・参考書	講義スライド			
履修条件	なし			
履修上の注意	期限内の課題提出によって各回の出席が確定			
準備学習と課題の 内容	出題した課題に必ず取り組み、毎回の授業ごとに予復習には少なくとも3時間以上の時間をかけること.			
ディプロマポリ シーとの関連割合 (必須)	知識・理解:30%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:15%, 態度:15%, 技能・表現:20%			
DP1 知識・理解				
DP2 思考判断				
DP3 関心意欲				
DP4 態度				
DP5 技能・表現				